全国大会を目指して

5/13 石井菜々華さん全道大会へ

5月15日に深川市で開催される全農杯2022年度北海道卓球選手権大会兼全日本予選会に出場する、上士幌小学校５年生の石井菜々華さんが教育長を訪問し、大会への意気込みを語りました。

石井さんは今大会でホープス女子シングルスの部に参加します。大会に向けて石井さんは「７位までに入賞して、全国大会に出場したい。」と話しました。教育長は「得意なスマッシュがたくさん決まるように頑張ってほしい。」と激励しました。

上士幌学で林業体験

5/19 カラマツの苗木を植樹

5月19日、上士幌高校の３年生７名が地域への理解を深める選択科目「上士幌学」の一環として、カラマツの苗木50本を植樹し、本町の基幹産業の一つである林業への理解を深めました。

役場農林課と十勝総合振興局森林室足寄事務所の指導のもと、生徒たちは苦労しながら苗木を植え、食害防止のためのカバーを設置するなど、植樹について学びました。生徒たちは「長い間たくさんの苗木を植えてきたことに驚いた。」などと話していました。

卓球特別技術講習会

5/22 丹羽美里さんの特別指導

かみしほろ学園・上士幌町教育委員会の主催により、丹羽美里さんの卓球特別技術講習会がスポーツセンターで開催されました。

卓球日本代表丹羽孝希選手の姉であり、自身も優れた卓球選手である丹羽美里さんが来町し、少年団や中学校卓球部、高校卓球部に所属する児童・生徒たちに技術指導を行いました。

一流選手の指導を受け、子どもたちは普段と違う表情で懸命に練習に打ち込んでいる様子でした。

上士幌自動車工業株式会社

5/26 軽自動車２台を寄付

４月26日、上士幌自動車工業株式会社様から、地域貢献に役立ててほしいとして軽自動車２台（ダイハツハイゼットカーゴ）を寄付していただきました。

５月26日、代表取締役の佐藤正彦様に感謝状を贈呈するとともに、車両の受領式が行われました。

佐藤様は「町民としての感謝の気持ちを伝えたい。積極的に活用して、公務に役立ててほしい。」とお話しいただきました。寄付された車両は、納税業務と学校給食業務に活用される予定です。

5/29 上中体育祭

6/7-9 上小学年別運動会

5・6月の
まちのわだい

晴天のもと、団員の勇姿を披露

5/29 上士幌消防団消防演習

消防の基礎訓練とポンプおよび機械器具の取り扱いに習熟し、技術の向上と士気の高揚を図り消防活動の充実強化を目的として、上士幌消防団消防演習が５月29日に開催されました。

演習では巡閲や車両４台による迫力の一斉放水（写真）などが実施されました。演習後には消防団表彰が執り行われ、消防庁長官表彰・永年勤続功労章を消防団長の菅原研さんが受章されたほか、日本消防協会表彰など、延べ９名の方が表彰されました。

プロのバスケットボールプレイヤーに挑戦

5/29 レバンガ北海道バスケ教室

５月29日、有限会社ドリームヒルの主催によりレバンガ北海道の選手が指導する「バスケットボールクリニック」が開催されました。

レバンガ北海道からは講師として橋本竜馬選手、玉木祥護選手、松下裕汰選手、コーチの木村純一さんが指導を行い、町ミニバス少年団、上中バスケ部の児童生徒ら約50人が参加しました。ボール回しやドリブルなど基本を学んだ後、最後はミニゲームで選手たちと対戦し、会場は大きく盛り上がりました。

上士幌中学校新津愛理さん

5/31 国民体育大会道予選会出場

６月３日から５日にかけて江別市で開催される第77回国民体育大会（卓球大会）北海道予選会少年少女の部に出場する、上士幌中学校３年生の新津愛理さんが教育長を訪問しました。

新津さんは「今大会は高校３年生以下の大会で、相手は同い年か年上ばかり。自分の力がどこまで通用するかこの大会で確かめたい。」と闘志を燃やしている様子で、教育長は「常に前向きに、今まで積み上げてきたものを遺憾なく発揮してほしい。」とエールを送りました。

全農杯北海道卓球選手権大会出場

6/2 菅原芽衣さん決意を語る

６月２日、深川市で開催された全農杯2022年度北海道卓球選手権大会兼全日本予選会に出場した、上士幌小学校４年生の菅原芽衣さんが教育長を訪問し、大会結果の報告を行いました。

菅原さんは１回戦敗退となりましたが、「秋の大会までにたくさん練習して、次は１位を獲りたい。」と決意を語り、教育長は「得意の横下回転サーブをこれまで以上に磨き上げ、次の大会では見事優勝できることを期待したい。」と話しました。

5・6月のまちのわだい

▲６月２日、防災啓発研修が消防庁舎研修室でオンラインで実施され、町民７名が参加しました。大雨洪水での避難行動など学んでいる様子でした。

▲５月29日、道の駅でフリーマーケットイベント「楽楽市」が開催されました。道の駅での開催は今回が初めてで、町外のお客さんも来ていました。

新しい未来に向けたまちづくりを

6/1 脱炭素先行地域選定証授与式

上士幌町は本年４月、環境省が公募する「脱炭素先行地域」に選定され、６月１日に東京都で開催された脱炭素先行地域選定証授与式において、山口壮環境大臣より竹中貢町長に選定証が授与されました。

授与式で山口大臣は「今回選定された26地域は脱炭素ドミノを引き起こす一番大事な出発点になる。」と期待を寄せ、竹中町長は「全国のモデルとなれるよう、新しい未来に向けたまちづくりを進めていきたい。」と話しました。

町では今後、目標達成に向けたさまざまな取り組みを展開していきます。

5/17 6/7

命の大切さ・交通事故防止を願って

ひまわりの絆プロジェクト

全国の警察署で交通安全を願う「ひまわりの絆プロジェクト」に、今年も上士幌町商工会女性部が協力しました。「ひまわりの絆プロジェクト」とは、交通事故で亡くなった男児が育てていたヒマワリの種を警察官が譲り受け、全国の警察署で植栽が行われている取り組みです。

５月17日に商工会女性部８名、上士幌小学校２年生40名とともに小学校の花壇にひまわりを植栽し、６月７日には商工会女性部５名、認定こども園年長児31名がこども園の畑に種を植えました。

育った後は種を採取し、次年度に繋げることになります。

令和4年度 「上高たより」

上士幌高校です！

文責：教頭

No.51
令和 4 年
6 月24日

Highschool

TITLE：高体連集約大会が終わりました

５月は運動部活動の生徒達にとってはとても大切な月となります。それは、高校スポーツ最大の毎年７月及び８月に開催されるインターハイの支部予選があるからです。通常、高校３年生はこのインターハイで引退となります。支部予選から勝ち抜いていけば、８月まで競技を続けることができますが、予選で負けてしまえば引退という、トーナメントで負ければ終わりの一発勝負です。

上士幌高校の運動部は、サッカー、テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ハンドボールが出場しました、その中で卓球部のダブルス１組が６月14日から小樽で行われる全道大会出場を決めました。この大会で勝ち進めば７月に四国で行われるインターハイに出場となります。是非並み居る強豪に打ち勝って、インターハイ出場を決めて欲しいです。（各部活動の結果等は学校ＨＰをご覧下さい）

△壮行会の様子（サッカー部の挨拶）

△卓球で全道大会出場を決めた清水（３年）・佐藤（２年）ペア

上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

２年生が進路学習をしました

文責 塚本 康太

６月９日に２年生の「総合的な探究の時間」で自分たちの卒業後の進路についてのガイダンスがありました。進学希望と就職希望とに分かれ、自分は就職希望者の方に出席しました。

ハローワークで高校生の求人を担当する方の話から、①一つでもいいから何か目標を持って生活面をやり直すことで「自分のこと」を知るきっかけになる。②普段の生活態度やあいさつなどのマナーを改めてみること。③人とのコミュニケーションは信頼関係を作る上でとても重要なこと。④自分への信頼は会社への信頼につながっていること。⑤何よりも「自己分析」が大切になること、ということが良く分かりました。自分ももう１年後には求人票を見る立場になるので、今から切り替えていこうと思います。

△ハローワークの北澤さんです

△みんな真剣に聞いていました

△自己分析に取り組んでます

町民文芸

短歌

不安定なさまに安定保ちたる今朝の荷馬車の不思議なかたち　本間栞風

直列に街灯ぬれるて灯しあふ深夜の零時ひとり目覚めゐて　尾野よし乃

憂えども合理化多様化押しよせてただわが上を素通りしゆく　鈴木豊

夏くれば花も咲いて晴々し鳥の声ききウオーキングする　高橋博和

六月の明るい日射しの朝早くアスパラ畑に収穫作業　米森真弓

早起きは苦手だけれどアスパラを刈り取る仕事に汗をかきたり　中濵夏希

抱きしめてグルグルグルと回したら喜こぶ娘何度もせがむ　堀籠錦之介

錆ついた鈍色の心にいつか見た虹色の光憧れ抱く　すみれ

帰って来た娘の自転車の音のする部活に励み疲れは無いか　小松義美

くきやかな山なみ見えし六月の今日も仕事を終らせきたり　松田理恵

お仕事のテーブルふきを終らせて日ざし眩しい外に出でたり　高木誠也

通るたび気になり見つつ進みたり皆んなで植えた国道の花　瀬戸洋明

雑草のはびこる庭を横に見て朝の冷めたい空気の中行く　石川裕子

古え（いにし）の武士の時代と相通ず今の世界の悲しき振舞い

編集後記

➲６月11日（土）から12日（日）にかけて、道の駅2周年イベント「道の駅ピクニック」が開催されました。土曜日は絶妙に雨が降っており大変残念でしたが、日曜日は晴れ間も見え、とても気持ちの良い日でした。広報担当的には当然顔を出して色々と写真を撮ったところですが、特に印象深かったのは大道芸人SATOYAさんのステージです。多彩な芸と巧みな話術、そう、実に巧みな話術で会場は釘付けでした。手に汗握る迫力のパフォーマンスは必見です。…T

広報 かみしほろ 8月号は7月25日（月） 発行予定

戸籍の窓口

令和４年 ５ 月末現在の 人口

男　性	2,425人（-2人）
女　性	2,517人（+5人）
人　口	4,942人（+3人）
世帯数	2,618世帯（+6世帯）

令和 4 年度 ふるさと納税寄付金

5 月分	2,860 件
	45,374,000 円
累計	4,572 件
	70,153,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝申し上げます。
※６月７日現在

上士幌町民憲章

1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。